



青年赤十字奉仕団 (勤労青年や学生により組織されています)

- ・奈良県青年赤十字奉仕団 岡地 玲佳 さん
- ・近畿大学農学部赤十字奉仕団 小笠原 琴子 さん
- ・奈良大学学生赤十字奉仕団 杉本 航希 さん



◆赤十字に関わったきっかけ◆

岡:両親がよく献血をしており、自由研究などで日赤のことを調べていました。いつか自分も人のために動ける人になりたいと思ったときに日赤のボランティア活動について知り、進学タイミングで入団しました!

小:高校時代からボランティア活動に参加しており、活動をするなかでやりがいを感じ、大学でも継続したいと思ったからです。

杉:大学入学前は地域のイベントのお手伝いや海岸の清掃活動といったボランティアに参加していました。大学入学後は初めて献血に参加した際にボランティア以外の活動もしている赤十字に興味を持ち、さらに自分の大学にも赤十字奉仕団があることを知り、赤十字奉仕団に入団しました。

★各国の活動等★

岡:日赤での研修で取得できる資格を団員と一緒に取得したり、日赤支部の方と災害や人命救助について広めるイベントに参加したりしました。

小:海外たすけあい街頭募金、大学内外での献血啓発活動、様々な地域イベントへの参加、清掃活動の企画 & 実施などを行なっています。

杉:学内献血での呼びかけ、防災や救急法の勉強、大学祭や学外でのイベントで防災・救急の啓発展示、障害者支援やボランティア活動といった様々な活動を月一回程度しています!



☆各国のアピールポイント☆

岡:日赤でのボランティア活動から出会った仲間との交流がいつも楽しみです。久しぶりに会ったのに「〇〇青春の子だね。」と、覚えてもらえたのが嬉しくて、つつい話し込んでしまいます。覚えてもらえていたことも嬉しいですが、また一緒に団員として活躍できていたことがすごく嬉しいなと思っています。

小:団員数が72名と県内において最大級の赤十字奉仕団なので、様々な学年学科の人と交流できるのが強みです。自分にはない考えを持っている団員との活動はとても刺激的で自分の視野を広げてくれます!

杉:防災・救急の勉強、そして学生への啓発活動に力を入れています。奈良大学では赤十字活動についてあまり関心を持たれていませんでした。大学内でも赤十字をPRしたい!それをアピールできるのは同年代の自分たち!ということで、赤十字活動等を学内外の学生にアピールしています。大学祭での防災・救急展示、SNSで献血についてPRしたり、学内献血当日に献血のやり方や授業前にプレゼンを行ったりしてアピールをしています。奈良大学赤十字奉仕団は立て直してハイ終わり、ではありません。これからが本番ですので、どうか皆さん今後にご期待下さい!

♥赤十字に関わってよかったこと♥

岡:活動していると他団員との交流も多くなります。何度も会っているうちに同じ志を持つものとして話すことも多くなり、自団で困っていることや日々頑張っていることを相談できるのがいいと思います。また、全国で関わる日赤ボランティアは、様々な視点から見られる機会が多いと感じました。自分自身の成長にも繋がったと思います。知り合った方の地域が頑張っていることを知って、自分の地域でも頑張ろうと思えることが繋がりを大切にする赤十字奉仕団の魅力で強みだと思っています。

小:ボランティアとして参加した活動で、参加者が笑顔で楽しんでいるのを見たときや自分たちの献血啓発によって献血者が増加したときには特にやりがいを感じます。

杉:『多くの人とのつながり』だと思います。ボランティアや研修を通じて他の奉仕団と交流ができました。学内献血の際に、友人が協力してくれた時はありがたいですし、特に自分1人の奉仕団に後輩たちが入ってくれた時はとても嬉しかったのを覚えています。